

# 委託事業実施内容報告書

## 平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO法人国際支援地球村

#### 1. 事業名称

災害に対応できる日本語教室

#### 2. 事業の目的

日常生活に必要な日本語の学習と、被災地での暮らしの情報提供及び一昨年経験した東日本大震災を教訓に、防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習する。同時に現在母国へ帰国している外国人が再来日した時に心のケアを含め、災害時に対応できる能力を身に付けていただく。

#### 3. 事業内容の概要

●『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案』を活用し、

日常生活に必要な日本語学習の他、

○災害に対応できる日本語能力を高める(日本語教室において災害時に救助を求める方法、情報の収集、情報の発信を学習)

○防災知識を取得する(消防署等と連携し救助措置やAEDの使い方、また防災に役立つ講習会を開催する。)

#### 4. 運営委員会の開催について

##### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年6月30日 18時～20時	2時間	ハヨコリア会議室	高須賀精一郎 李 東勳 木村正樹 梶原美佳	「災害に対応できる日本語教室」開催について 事業計画への取組方法、 プログラム、受講生の募集方法、開催日程など	地域に住む定住外国人に今必要な情報提供と防災意識をさらに高めるプログラムにする。地域の現状に沿った教室活動を行う。
2	平成25年3月15日 13時～15時	2時間	ハヨコリア会議室	高須賀精一郎 李 東勳 木村正樹 梶原美佳	「災害に対応できる日本語教室」終了報告 成果 今後の課題	3つの取り組み実施終了報告。災害に対応できる日本語能力および生命財産を守るノウハウを学習し防災意識を高める成果はあったが、一時的な効果で終わらせないよう、今後も定期的に防災意識を高める支援の必要性があり、震災ストレスの緩和等長期な支援が必要。

##### 【写真】



## 5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称 災害に対応できる日本語教室

(2) 目的・目標 日常生活に必要な日本語の学習と、被災地での暮らしの情報提供及び一昨年経験した東日本大震災を教訓に、防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習する。同時に現在母国へ帰国している外国人が再来日した時に心のケアを含め、災害時に対応できる能力を身に付けていただく。

(3) 対象者 定住外国人

(4) 開催時間数(回数) 128 時間 (全 64 回)

(5) 使用した教材・リソース 標準的なカリキュラム案、市報、新聞、オリジナル教材、参考書(これだけは知っておきたい山村流災害防災用語辞典、我が家の防災マニュアル、防災スタンダードブック、目からウロコの防災新常識、防災 BOOK、実践漢字指導、日本語多義語学習辞典(動詞)(名詞)(形容詞) 合格できる日本語能力試験、聴解、中上級文法、日本語の教え方 ABC、学習者によくわかる 10 の基本)

(6) 受講者の総数 20 人

(出身・国籍別内訳

)

韓国 10 人, 中国 4 人, アメリカ 4 人, ドイツ 1 人, フィリピン 1 人

(7) 受講者の募集方法

チラシにより開催のお知らせと募集(市役所市民協働課、石巻周辺役場、民間スポーツジム)、ロコミ、ラジオ石巻による多言語放送にて開催案内。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍 (人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 7 月 6 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	韓国 (7 人)、中国(4 人)アメリカ (1 人)	開講式と自己紹介	開講式と自己紹介。「災害に対応できる日本語教室」についての説明および学習スケジュールを案内。
2	平成 24 年 7 月 10 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 事故に備え、対応する ○各種の標識、注意書き等を理解する。	震災以降、様々な注意喚起の看板が増加。各種の標識、注意書き等の読み方や意味を理解する。(道路冠水注意、道路段差あり、この先通行止め、迂回 立ち入り禁止等)
3	平成 24 年 7 月 13 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習
4	平成 24 年 7 月 17 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	韓国 (5 人)、中国(4 人)アメリカ (3 人)	《健康・安全に暮らす》 事故に備え、対応する ○有効な施錠の仕方について理解する。	説明書を読んで理解する。友人や知人に疑問点を質問したり確認したりする。

5	平成 24 年 7 月 20 日 10:00~12:00	2 時間	11 人	韓国 (5 人)、中国(4 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
6	平成 24 年 7 月 24 日 10:00~12:00	2 時間	13 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (3 人) ドイツ(1 人)	《健康・安全に暮らす》 事故に備え、対応する ○警察に通報する。	状況を明確に伝える学習。警察官の質問や指示を理解し、受け答えの学習。
7	平成 24 年 7 月 27 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
8	平成 24 年 8 月 3 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (3 人)	《健康・安全に暮らす》 事故に備え、対応する ○近くの人に知らせる、救急車の要請	交通事故の発生場所と状況を説明する学習。起こったことを順序立てて説明する学習。
9	平成 24 年 8 月 7 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習
10	平成 24 年 8 月 10 日 10:00~12:00	2 時間	11 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (2 人)	日本語特別授業	宮城学院女子大学助教授による日本語特別授業 (文法)
11	平成 24 年 8 月 28 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
12	平成 24 年 8 月 31 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (3 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する○地震がおきたら・・・	オリジナル教材を使用。地震がおきた場合の対処方法を、居場所によって異なることを学習。家(居間、トイレ、台所)、外出先(スーパー、車、電車、)別に学ぶ。
13	平成 24 年 9 月 4 日 10:00~12:00	2 時間	11 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
14	平成 24 年 9 月 7 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
15	平成 24 年 9 月 11 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習

16	平成 24 年 9 月 14 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
17	平成 24 年 9 月 18 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
18	平成 24 年 9 月 21 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
19	平成 24 年 9 月 25 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
20	平成 24 年 9 月 28 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○災害にあった時に・・・	オリジナル教材を使用。昨年の震災の教訓より、災害によりケガをしたり、万一、亡くなった場合の身元確認カードを作成。国籍、母国名、母国の連絡先を記載。その他伝えたいことを記入。
21	平成 24 年 10 月 5 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習
22	平成 24 年 10 月 9 日 10:00~12:00	2 時間	11 人	韓国 (6 人)、中国(3 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○天気予報、台風に留意し理解する	天気予報のことばの学習。新聞、ラジオ、テレビの気象情報を正確に聞き取る学習。台風について人に質問して理解できるように学習。
23	平成 24 年 10 月 12 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル学習
24	平成 24 年 10 月 16 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
25	平成 24 年 10 月 19 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○消防、警察、救急に電話する	消防、警察に火事が発生したことを知らせ、消防車の要請をする学習。
26	平成 24 年 10 月 23 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字

27	平成 24 年 10 月 26 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○サバイバルポーチを持ち歩こう	外出先で災害にあった場合に備え、非常品をひとつのポーチに収納したサバイバルポーチを持つことを提案。各自、中身のリストを考える。普段から持ち歩くことで災害に対応する意識を高める学習。
28	平成 24 年 10 月 30 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (2 人)	日本語特別授業	宮城学院女子大学助教授による日本語特別授業(文法)
29	平成 24 年 11 月 2 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
30	平成 24 年 11 月 6 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	災害に備え対応する～実践編	消防署出張安全講習
31	平成 24 年 11 月 9 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
32	平成 24 年 11 月 13 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (2 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル 聴解学習
33	平成 24 年 11 月 16 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する○ライフラインが止まったら・・・	オリジナル教材を使用。災害によりライフラインが止まったときの生活の知恵を学習。昨年の震災の教訓により自分で思いついたアイデアなどを意見を出してもらい情報交換を行う。
34	平成 24 年 11 月 20 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル読解学習
35	平成 24 年 11 月 27 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (6 人)、中国(1 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル学習
36	平成 24 年 11 月 30 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習
37	平成 24 年 12 月 4 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。

38	平成 24 年 12 月 7 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
39	平成 24 年 12 月 11 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
40	平成 24 年 12 月 14 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
41	平成 24 年 12 月 18 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○防災ずきんをつくろう	災害時身を守る道具のひとつとして、昔からある防災ずきんを作成し防災意識を高める。
42	平成 24 年 12 月 21 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル聴解学習
43	平成 24 年 12 月 25 日 10:00~12:00	2 時間	3 人	韓国 (1 人)、中国(1 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習
44	平成 25 年 1 月 8 日 10:00~12:00	2 時間	7 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字
45	平成 25 年 1 月 11 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル読解学習
46	平成 25 年 1 月 15 日 10:00~12:00	2 時間	4 人	韓国 (3 人)、中国(0 人)アメリカ (1 人)	《目的地に移動する》 公共機関を利用する	タクシーを利用して目的地に移動する際の表現方法を学習、行き先を告げる学習、
47	平成 25 年 1 月 18 日 10:00~12:00	2 時間	7 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文字語彙学習
48	平成 25 年 1 月 22 日 10:00~12:00	2 時間	7 人	韓国 (4 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する ○被災地の取り組み	市報や新聞を使用し、被災地の現状と復興の状況を記事を読みながら情報収集の学習。
49	平成 25 年 1 月 25 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル文法学習

50	平成 25 年 1 月 29 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する	オリジナル教材使用。災害を乗り切るための(1 日間・3 日間別)非常品リストを言葉の学習をしながら作成する。災害時の緊急連絡先や重要書類を整理するリストも作成。
51	平成 25 年 2 月 1 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《目的地に移動する》 公共機関を利用する	目的地に移動する際、公共機関が使えない場合、徒歩で移動する表現の学習 地図の見方、住居表示、案内地図を読む学習。目的地までの道を尋ねる学習。
52	平成 25 年 2 月 5 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル読解学習
53	平成 25 年 2 月 8 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《情報を収集、発信する》	インターネットサービスの内容、利用方法を理解し、知りたいことを人に聞く表現の学習 インターネット用語パソコン用語の理解
54	平成 25 年 2 月 12 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (7 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
55	平成 25 年 2 月 15 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人)、中国(3 人)アメリカ (1 人)	《情報を収集、発信する》	インターネットサービスの内容、利用方法を理解し、知りたいことを人に聞く表現の学習
56	平成 25 年 2 月 19 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル聴解学習
57	平成 25 年 2 月 22 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人) 中国(2 人)アメリカ (1 人) フィリピン(1 人)	日本語特別授業	宮城学院女子大学助教授による日本語特別授業
58	平成 25 年 2 月 26 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に備え対応する～実践編	消防署出張安全講習
59	平成 25 年 3 月 1 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	日本語特別授業	宮城学院女子大学助教授による日本語特別授業
60	平成 25 年 3 月 3 日 10:00~12:00	2 時間	10 人	韓国 (5 人)、中国(3 人)アメリカ (1 人) フィリピン(1)	《社会の一員となる》 地域社会に参加する	居住地の自治会について隣人に尋ねる表現の学習、回覧板、各種案内を理解する学習

61	平成 25 年 3 月 5 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人) フィリピン(1)	《社会の一員となる》 地域社会に参加する	自治会の行事に参加するための情報を得る学習。 丁寧な聞き方の表現学習。
62	平成 25 年 3 月 8 日 10:00~12:00	2 時間	9 人	韓国 (6 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	災害に対応できる日本語能力を高める	日常生活に必要な日本語学習と被災地での暮らしの情報提供 N3 レベル漢字学習
63	平成 25 年 3 月 12 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	《健康・安全に暮らす》 災害に備え、対応する	オリジナル教材使用。我が家の防災マニュアルを作ろう。今まで自分で作成した防災に関する書類を一冊にまとめ、保存版自分だけのオリジナル防災マニュアル本を作成する。
64	平成 25 年 3 月 15 日 10:00~12:00	2 時間	8 人	韓国 (5 人)、中国(2 人)アメリカ (1 人)	講座終了にあたり振り返りと閉講式	講座終了にあたり、「災害に対応できる日本語教室」を受講した感想等作文。

### (9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

#### ①授業のテーマ《防災訓練》学習日 11 月 6 日(火)10:00~12:00

石巻消防署と連携し、防災に役立つ講習会を実施(救助措置、AEDの使用方法など)

救急隊の専門的な言葉での説明が多いため、学習者が理解しやすいよう、中国語、韓国語、英語の通訳を入れ、自らの生命財産を守るノウハウと、周囲の人を助ける学習を行い防災意識を高めた。



#### ②授業のテーマ《防災訓練》学習日 2 月 26 日(火)10:00~12:00

石巻消防署と連携し、防災に役立つ講習会を実施(講習、訓練【救助措置、人口呼吸、止血方法など】)

2 回講習を受講、石巻地区広域行政事務組合消防長より「普通救命講習修了証」を頂いた。

#### ③授業のテーマ《健康安全に暮らす》災害に備え対応する授業。

学習日 1 月 29 日(火)10:00~12:00

防護用品、避難用品など非常時持ち出しに役立つ備品について、物の名前の学習及びどんな状況で使うものか学習(備蓄品、家財、転倒、突っ張り、ホイッスル、携帯トイレ、破片、濁る、浮く、保温、ランタン、充電、手動など)

車で移動時、災害に遭った場合の車用緊急脱出ツール(窓ガラス破壊用ハンマー等)などは、初めて見る学習者も多く、語彙と使用方法を学習。より身近な問題として受け止めた。防護用品、避難用品、家の備蓄品、車内用避難用品を日頃から準備しておく重要性を知り、防災意識を高める学習を行った。

また、12 月の地震発生(震度 5)と津波警報発令時の様子を話し合い、その際使用された言葉に重点を置き学習(語彙・

沿岸部、ただちに等 表現・避難せよの「せよ」等)



#### ④授業のテーマ「災害に対応できる日本語能力を高める」

学習日 2月12日 10:00~12:00

市報や県だよりに記載してある被災地での暮らしに役立つ情報提供。

記載してある語彙や表現を学習、震災関連の情報を自分で理解し記事を自分で読めるよう学習を行った。

#### (10) 目標の達成状況・成果

日常生活に必要な日本語の学習を標準的なカリキュラム案を活用し、おもに「健康・安全に暮らす―安全を守る」「目的地に移動する」「社会の一員となる―地域社会に参加する」「情報を収集・発信する―通信する」項目について、地域の状況、被災地で暮らす学習者のニーズとレベルに合わせて語彙と表現を学習を行った。また市報や新聞を活用し被災地の暮らしの情報提供と、消防署との連携により講習会を行い、防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウの学習ができた。

全講座終了時のアンケート調査の結果、受講した学習者からは、

○約9ヵ月間防災関連の日本語学習を通して自らの生命と家族を守る知識が身に着いた

○自分以外の地域住民も助けるノウハウ身につけられたことが大きな収穫であった

○2年が経過してつい、防災意識が薄れていく中で、自分の身は自分で守る防災意識が高まり、地域での生活の自信につながった

などと言った結果が得られた。

直接講座を受講せずに、心のケアや相談に訪れる定住外国人からは

○地域で暮らしていくことの不安や緊張感が誰かに話すことで落ち着きを取り戻すことができた。

○被災地での暮らしの情報を必要な情報をわかりやすく知らせてもらい心強かった

などの声をいただいた。

#### (11) 改善点について

○日本語を学習し教室に通う楽しさが定着した頃、この地域の産業(水産加工業)が盛んになる時期には学習者がアルバイト等をするため、学習者が減少した。学習者からは、開催曜日と開催時間が多様だと学習しやすいとの意見をいただいた。学習者の意見を尊重した開催日程を今後検討してみたい。

○9ヶ月間学習し身に付けた防災知識を今後忘れないでおく必要なあり、定期的に学習者を集め、防災意識が薄れることのないよう今後も定住外国人のための防災に関する講座を設けたい。

## 6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称日本語教育を行う人材の養成、研修の実施

(2) 目的・目標 地域の日本語教室における日本語教師ボランティア養成

○地域に住む定住外国人にとって、話す、聞く技能だけでなく、読む、書く、の技能も生活に欠かせないものであることから、四技能の技能別の指導法についてもポイントを絞って学ぶ。

さらに、ボランティアとして支援を行っていく際にどのような点が課題となりうるか、事例を挙げながら考え、ボランティアとしての心構えを身につける。

(3) 対象者 石巻市および周辺地域住民

(4) 開催時間数(回数) 12時間 (全 4回)

(5) 使用した教材・リソース オリジナル教材

(6) 受講者の総数 12人

(出身・国籍別内訳

日本 12人

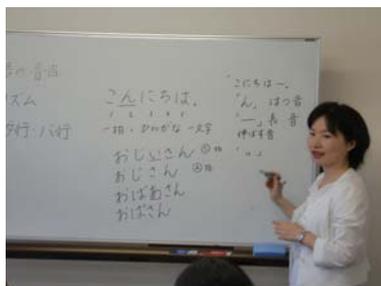
(7) 受講者の募集方法

口コミ、ラジオ石巻にて石巻市内および周辺地域に開催告知。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 8 月 20 日 13:00~16:00	3 時間	ハヨンコリア 会議室	10 人	日本(10人)	生活者のための 日本語学習支援 の現状を知る	講義 生活者のための日本語学習支 援の現状 演習 易しい日本語に換えてみよう
2	平成 24 年 8 月 21 日 13:00~16:00	3 時間	ハヨンコリア 会議室	12 人	日本(12人)	日本語のしくみ (文法、音声)を理 解する	講義 日本語音声と文法のポイント 演習 日本語教材を分析してみよう
3	平成 24 年 8 月 23 日 13:00~16:00	3 時間	ハヨンコリア 会議室	12 人	日本(12人)	日本語の教授法 を理解する	講義 「読む、書く、話す、聞く」の技能 別指導のポイント 演習 身近なもので教材を作ってみよ う
4	平成 24 年 8 月 24 日 13:00~16:00	3 時間	ハヨンコリア 会議室	11 人	日本(11人)	日本語ボランティ アの役割を考える	講義 異文化コミュニケーション・スキ ルとは 演習 日本語学習者と話してみよう

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)



講座のねらい:地域に住む定住外国人にとって話す、聞く技能だけでなく、読む、書く、の技能も生活に欠かせないものであることから、四技能の指導法についてもポイントを絞って学ぶ。さらに、ボランティアとして支援を行っていく際にどのような点が課題になりうるか、事例を挙げながら考え、ボランティアとしての心構えを身につける。

①講座日 8月20日(月)13:00~16:00

授業のねらい ○生活者のための日本語学習支援の現状を知る

講座:生活者のための日本語学習支援の現状

演習:易しい日本語に換えてみよう

講座では宮城県の外国人登録者数の内訳や地域の日本語教室の役割、多文化共生社会について学習、演習ではプリントを使用し、易しい日本語に換えてみる練習を行った。

○どちらが、より「やさしい日本語」だと思いますか。

- ・A 水泳する   ・B 泳ぐ
- ・A 出かける   ・B 行く
- ・A 一番       ・B 最も       など

②講座日 8月21日(火)13:00~16:00

授業のねらい ○日本語のしくみ(文法・音声)を理解する

○日本語の音声について(拍とリズムが行、だ行、ば行、長音、撥音、イントネーション、アクセントなど)、

例)清音と濁音:タイガク(退学)とダイガク(大学)、テンキ(天気)とデンキ(電気)

例)短母音と長母音:オバサンとオバアサン スキ(好き)とスキー、キテ(来て)とキイテ(聞いて)

○日本語の文法を(動詞、形容詞、表現、語彙の使い分け)等、初級、中級以降で学習する項目をポイントを絞ってプリントを使用し学習。

中級以降の表現文型や語彙の使い分け~類義語

例)「取り消し」と「キャンセル」、「ゆっくり」と「のろのろ」、「すぐ」と「さっそく」、「かなり」と「だいぶ」など

初級の動詞に関しては1グループ2グループ3グループの活用を例をあげて学習、国文法との違いを学習。

(10) 目標の達成状況・成果

取り組みのテーマを4つに分け(日本語学習者の支援の現状、日本語の仕組み、教授法、ボランティアとしての心構え)日本語ボランティア講師として必要な事柄にポイントを絞って指導、全講習終了後のアンケート結果から、受講者から日本語を指導する楽しさと、ボランティアの心構えと少し自信が持てたと声をもらい、ボランティア人材養成を行う目標達成できた。また「標準的なカリキュラム案の活用例(実践例)」の主に教室活動の展開例を活用し、実際の教室活動の内容や展開を指導。ワークショップ形式での実習を行い受講者の理解度を高めた。

(11) 改善点について

受講者から実施体制に関して実施期間を短期集中型ではなく、長期的に指導してもらえないかといった意見があったため、指導講師の意見も加味しながらより多くのボランティア希望者が受講できるよう改善していきたい。

**7. 日本語教育のための学習教材の作成**

(1) 教材名称

- ①家の中で地震がおきたら・・・/街中で地震がおきたら・・・地震がおきたらどうしますか
- ②身元確認カードを作ろう/家族との連絡方法/家族のスケジュール
- ③サバイバルポーチを作ろう
- ④ライフラインが止まったときの生活の知恵
- ⑤防災ずきんをつくろう
- ⑥災害を乗り越えるための準備/災害を乗り越えるための非常品リスト(1日間、3日間)/準備しておこう！大事な書類
- ⑦我が家の防災マニュアルを作ろう

(2) 対象 定住外国人(学習者)

(3) 目的・目標

一昨年経験した東日本大震災を教訓に、防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習するための教材を作成する

(4) 構成

①～⑥で記入したものを⑦で一冊にまとめて完成させる。(学習したものに表紙をつけて「我が家の防災マニュアル」として一冊にまとめ、自宅で保管、家族と共用し活用してもらう)

(5) 使い方

授業のテーマ「健康・安全に暮らす」の際の授業(7回分)で使用。防災に関する知識を習得しながら、教材の空欄に記入する力所では日本語の語彙の学習と書きの学習を同時に行う。

(6) 具体的な活用例

防災意識を高める内容の教室活動 《④ライフラインが止まったときの生活の知恵 活用例》

災害が起こった際どんなことが困るか、実際に一昨年ライフラインが止まった当時の状況を、皆で振り返りながら話し合い 記入するヶ所を多く設けてあるので、記入しながら災害時の覚えておきたい語彙や表現の学習を行った。

同時に、また災害が起こった場合に落ち着いて対応できるための知恵を皆で出し合い共有し、自らの生命財産を守るノウハウを学習した。

(7) 成果物の添付

学習教材 下記を別添付ファイルにて送ります。

- ①家の中で地震がおきたら・・・/街中で地震がおきたら・・・地震がおきたらどうしますか
- ②身元確認カードを作ろう/家族との連絡方法/家族のスケジュール
- ③サバイバルポーチを作ろう
- ④ライフラインが止まったときの生活の知恵
- ⑤防災ずきんをつくろう
- ⑥災害を乗り越えるための準備/災害を乗り越えるための非常品リスト(1日間、3日間)/準備しておこう！大事な書類
- ⑦我が家の防災マニュアルを作ろう

## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的

日常生活に必要な日本語の学習と、被災地での暮らしの情報提供及び一昨年経験した東日本大震災を教訓に、防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習する。同時に現在母国へ帰国している外国人が再来日した時に心のケアを含め、災害時に対応できる能力を身に付けていただく。

### (2) 目標の達成状況・事業の成果

○被災地の復興の兆しがなかなか目に見えない現状が続いている中、定住外国人に被災地での暮らしの情報をわかりやすく提供し、心のケアと安心感を与えることができた。

○地域の現状に合わせたオリジナル教材を作成し、使用することによってより防災意識を高める学習内容の授業が実施できた。

○標準的なカリキュラム案を活用しながら地域と学習者に合わせ手を加えることで、地域に住む定住外国人のための防災意識を高める日本語学習を実施。自らの生命財産を守るノウハウを学習し防災意識を高めることができた。

○3つの取組をとおして、地域に住む定住外国人はもとより、石巻市および周辺地域の住民に対して生活者としての外国人のために、様々な取り組みを行っている文化庁事業と地域の団体があることを周知でき、今後の定住外国人支援を行う上で活動しやすい基盤ができた。

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

○標準的なカリキュラム案を活用しながら地域と学習者に合わせ手を加えることで、地域に住む定住外国人のための防災意識を高める日本語学習を実施(主に「安全を守る」「目的地に移動する」「地域社会に参加する」「通信する」の場面とやりとりの例を参考に地域の状況に合うようイメージを膨らませ活用)

また「社会・文化的情報」の的確な表現方法が授業で情報提供を行う際に役立った。

### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

○石巻市市民協働課・日本語教室開催チラシの配布協力いただき、定住外国人に広く開催周知を実施できた。

○宮城学院女子大学日本語文学科・日本語教師ボランティア養成講座を担当していただき、受講者から日本語を教える楽しさや日本語教師ボランティアとしての心構えを学び機会があればやってみたい等、声をいただき地域の日本語教師ボランティアの養成が成果があった。

○東北大学大学院教育研究科李准教授・日本語教室実施の外国人相談の際、心のケア傾聴活動に関する専門知識をコーディネーターにアドバイスいただき、震災で傷ついた相談者のこころのケアが実施できた。

### (5) 改善点、今後の課題について

○被災地に住む定住外国人の心のケアと、災害に対応できる日本語能力および生命財産を守るノウハウを学習し防災意識を高める成果はあったが、一時的な効果で終わる可能性もあり、定期的に防災意識を高める活動と震災ストレスを緩和する活動は今度も長期にわたり支援が必要かと思われる。

3つの取組を通して、地域に住む定住外国人はもとより、石巻市および周辺地域の住民に対して生活者としての外国人のために、様々な取り組みを行っていることを周知できたので、今後はさらに定住外国人支援の基盤作りを目指したい。

(6) その他参考資料

日本語教室設置運営終了時アンケートと結果(結果赤字)

ぶんかちょういたくぎょうむ せいかつしや がいこくじん にほんごきょういくじぎょう  
文化庁委託業務「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

さいがい たいおう にほんごきょうしつ かいこうざしゅうりょう  
「災害に対応できる日本語教室」64回講座終了しました～

アンケートにご協力おねがいします。

2013年3月15日

NPO法人国際支援地球村

かけつかん おつかまでした。

さいがい たいおう にほんごきょうしつ さんか かんそう いけん き  
災害に対応できる日本語教室に参加した感想や意見を聞かせてください。3月15日実施(8名)

《講座の内容について》

○災害に対応できる日本語を勉強して・・・

- ①1. よく理解できた ②理解できた。 ③ふつう ④あまり理解できなかった  
・・・4名 ・・・4名

その他※被災地の情報や市報をわかりやすくおしえてもらい助かった。(被災者支援情報など)

○毎日の生活に必要な日本語を勉強して・・・

- ①1. よく理解できた ②理解できた。 ③ふつう ④あまり理解できなかった  
・・・6名 ・・・2名

その他※生活に役に立つ言葉をたくさん覚えて助かった。

※せっかく勉強したけど使わないと忘れそうだ。※もっと勉強したい

○防災の勉強をして・・・

- ①とても良かった ②良かった ③ふつう ④あまり理解できなかった  
・・・6名 ・・・2名

その他※石巻で生活する外国人にとっては大変ありがたい。

《講座回数(64回)について》

- ①ちょうど良かった ②多かった ③少なかった  
・・・5名 ・・・3名

《講座開催曜日(平日)、時間(10時～20時)について》

- ①平日で、ちょうど良かった ②週末(土・日)が良かった ③平日1週末1が良かった  
・・・5名 ・・・2名 ・・・1名

- ①午前中でちょうど良かった ②午前より午後に良かった ③夜が良かった  
・・・6名 ・・・1名 ・・・1名

その他、日本語教室に参加した感想を聞かせてください。(どんなことでも良いです～)

- ・9ヶ月間防災の勉強して自分と家族を守る勉強ができた、よかった。
- ・防災の知識が身に着いた。今度また地震がきたら落ち着いて行動したい
- ・防災グッズのべんきょうがよかった。わからなかったことが勉強できて良かった。
- ・救命修了証をもらった。災害のときは自分が近くにいる人を助けたいと思う。
- ・被災地の情報をいつもくわしく勉強できて嬉しかった、ありがとうございました。
- ・防災の知識と日本語の勉強ができて生活に役立ちました。勉強続けたいです。

## NPO法人国際支援地球村 日本語ボランティア養成講座

〈アンケートにご協力お願いします。〉 2012.8.24 実施(11名)

※該当する番号に○を記入願います。

### ①今回の日本語ボランティア養成講座を受講して

・講座内容について

1.よく理解できた                      2 理解できた                      3 あまり理解できなかった  
    ・・・6名                              ・・・5名                              ・・・0名

・受講時間数について

1.満足している              2.やや満足している              3.少し足りない              4.全然足りない  
    ・・・5名                      ・・・5名                      ・・・1名                      ・・・0名

### ②ボランティアとして日本語を外国人に教えることについて

1.非常に自信がついた              2.少し自信がついた              3 あまり自信が持てなかった。  
    ・・・3名                              ・・・8名                              ・・・0名

4.全然自信が持てない

・・・0名

### ③今後、日本語ボランティアとして

1.機会があればすぐに活動したい              ・・・2名  
2.もっと日本語指導の勉強をしてから活動したい              ・・・9名  
3.活動はしない              ・・・0名

### ④その他、今回のボランティア養成講座を受講して感想をお聞かせください。

- ・普段使っている日本語についてあらためて意識する機会を得た。
- ・さらに日本語教育に関する興味が湧きました。もっと勉強したい。
- ・外国人に教える楽しさを学びました。難しさも。
- ・ボランティアの心得がとても参考になりました。
- ・日本語を教えるっておもしろいと思いました。
- ・やさしい日本語、言い換えが勉強になりました。
- ・日本語のおもしろさ、難しさ、外国人に教えるときのポイントを絞って教えてくださりありがとうございました。

ありがとうございました。

NPO法人国際支援地球村